

ネイチャーセンターだより



ノゴマ

Siberian Rubythroat



冬には東南アジアなどで過ごしていたノゴマが繁殖のために戻ってきています。

ノゴマの雄の特徴は、なんととっても赤い喉。体は茶色でそれほど目立ちませんが、この喉と黒い顔、白い眉の線といった頭部の彩色はとても綺麗です。

この喉から、「日の丸」なんてアダナもついています。安土桃山時代には「喉紅」と書いてノゴなどと呼ばれ、江戸時代になってコマドリに似ているということからノゴマという名前に変形したようです。

また、ピンクのハマナス、白いオオハナウドといった花を背景にさえずる姿は、春国岱の夏の景色を代表するものともいえるでしょう。(Y)

6月のイベント

春国岱ガイドウォーク

日時 6月19日(日)
9:00～12:00(悪天候中止)

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定員 先着20名
持物 温かな服装・歩きやすい靴・双眼鏡
(双眼鏡は限定数貸し出しあり)
申込 前日までに電話か直接センターへ
概要 春国岱を歩いたことはありますか?根室の誇る生き物の聖地「春国岱」の魅力ボランティアグループ「スंक」のメンバーがお伝えします。春国岱の自然に耳を目を、そして心を傾けてみませんか?

はまさきゆたか 濱寄豊写真展 PEACE OF MIND

日時 開催中!!(6月30日まで)

概要 風蓮湖周辺で暮らしている、美しくかわいい鳥達を集めた写真展です。濱寄さんが、春国岱・風蓮湖に何度も足を運び撮りためた写真です。美しいコントラストの体で水辺を飛ぶミヤコドリ、寝癖?でもつけたみたいなのゴマなど、キレイでかわいい写真がたくさん。是非見にいらしてください!



<お申込み・お問合せ先:ネイチャーセンター>

TEL 0153-25-3047

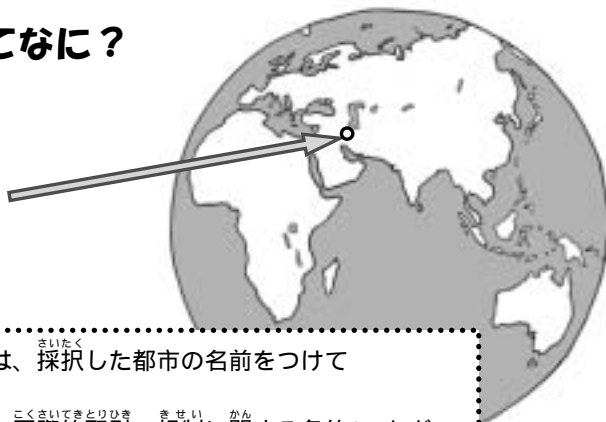
ラムサール条約 を知ろう! (第1回)

風蓮湖・春国岱は、いま、ラムサール条約登録湿地をめざし動き出しています。今回からこのコーナーで、ラムサール条約についてお伝えしていこうと思っています。

Q1. 「ラムサール条約」のラムサールってなに？

A1. ラムサール条約のラムサールとは

中東はイランのカスピ海に面した小さな町の名前です。1971年にラムサールで開かれた国際会議でこの条約が採択されたためそう呼ばれています。



ラムサール条約以外にも、条約などの国際的な決まり事は、採択した都市の名前をつけて呼ぶことがあります。

例えば：ワシントン条約（絶滅に瀕している野生動物の国際的取引の規制に関する条約）など

Q2. 「ラムサール条約」ってどんな国際的なやくそく？ (3択クイズ)

世界の文化、自然の遺産を保護するため
国際的に重要な湿地を保護するため
地球の温暖化を防ぐため

正解と解説は、次回このコーナーでお伝えします。

海・森・湿原からの手紙

春国岱ネイチャーセンターの開園当初から来てくれている少年が、恥ずかしがりながらもこんな手紙を届けてくれました。

『ネイチャーセンターの思い出』

僕がネイチャーセンターに初めて来たのは幼稚園の頃でした、僕の家近くにあったので建物を作っている頃から見えました。最初はちょっと恥ずかしくて中々行きづらかったけれど、レンジャーのみんなや掃除のおばさんが優しく接してくれたのでちよくちよくというか毎日のように来ていました。それによく学習林に行って近所の友だちと遊んでいました。森でリスの巣を見つかけたり、クルミを拾ったり、基地を作ったこともありました。

何年かするとレンジャーの人達が代わって新しい人が来ました、その時もやっぱり優しく接してくれてすぐに仲良くなりました。レンジャーの人達と森に行ったこともあります。それに館内の中に色々、楽しいものが増えていきました。ネイ

チャークラフトやクルミのおセロ等、様々なものが増えていき子供も大人も楽しめるような楽しいものでした。

そして月日が流れ、最初にいたレンジャーの人達はみんな代わりました。ネイチャーセンターに、最初から今もいるのは僕と掃除のおばさんだけです。けどやっぱりネイチャーセンターのレンジャーの人達はみんなが優しく楽しい人ばかりです。それがこのネイチャーセンターの良い所だと思います。ネイチャーセンターでは、みんなが今も昔も変わらず、これからもどんな人にも優しく楽しく接してほしいです。これが僕のネイチャーセンターの思い出です。



自然情報

～6月にこんなの見られます～



6月は夏鳥がそろそろほか、たくさんの花も美しい、とっても楽しい季節です！
春国岱・自然学習林へ、いろいろな種類の花や鳥を探しにでかけよう！

ヒバリ

空からとっても複雑で長い声が降ってきたら、上を見上げてみてください。一生懸命羽をはばたかせながら高く舞上がるヒバリの姿が見られます。ここはその名もヒバリコース。たくさんヒバリが見られます。



コマドリ

ヒンカララララ……。馬のいななきのような声が森の中から聞こえてきます。その名も駒鳥(コマドリ)。この声が聞こえたら、オレンジ色の小さな小鳥を探してみましょ。



ミソサザイ

茶色くてとっても小さいミソサザイ。体重は約10g。その体に似合わず、とっても大きな声で早口です。ピピピ チュイチュイ チョチヨチリリ……。自然学習林でも聞こえ&見られます。



クロユリ



ハマナス

開花

花の数もどんどん増えてきます。ピンクのハマナス、黄色のセンダイハギ、白いマイヅルソウ・ニリンソウ、紫のヒオウギアヤメ、黒いクロユリ……。足元に気をつけて歩くと、たくさんの花たちと出会えますよ。

お知らせ

ぬかるむ所があります。長靴など汚れても良い靴で、足元に気をつけて歩いてください。
虫除け対策も忘れずにしてください。



ネイチャーセンター日記

5月20日、ボランティアグループ「スंक」の月例ミーティングに参加した。今日の参加者は9名。「スंक」が進めている各プロジェクトの進行状況の確認と、来月以降の予定などを確認した。

そして、その日の最後は、みんなが頭を寄せ合い、筆を持ち寄り作ってきた紙芝居を上演した。「ん～いいものができたもんだ。」と、ニヤニヤしながら見ていた。拍手で終わった上演会だが、その後、熱を帯びた言葉が飛び交い始めた。「あ～でもない」「こ～でもない」「いややっぱり!」「そーだそれにしよう!」。紙芝居をよりよくする為に、その場は急激に盛り上がり発展的な意見が交わされた。彼らがいかに思いを込め、力を込めて作ってきたかがここでも感じられた。間もなく、その紙芝居が完成し、多くの人に上演する日がやってくる。とてもとても楽しんだ。(K)

ボランティアグループ「スंक」のご案内

「スंक」はネイチャーセンターの活動を支援、発展させるボランティアグループ。老若男女、様々な方々が活動しています。現在、以下のプロジェクトが進行中です! ご興味ある方は、ネイチャーセンターまで、ご連絡ください!!

「スंक」のプロジェクト

- | | |
|------------------|-------------------|
| 樹名板・オブジェ補修プロジェクト | 紙芝居プロジェクト |
| エゾシカ食害調査プロジェクト | 広報プロジェクト |
| 春国岱ガイドウォークプロジェクト | ネイチャーセンター祭りプロジェクト |
- など



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

まちがいさがし

一番下の絵には3つまちがいがあります。探してみよう。ちなみに、左がクマガラ、右がアカゲラ。正解は次号で。



～まちがい～



団体向けプログラムのご案内



- 野外解説 (1～2時間 / 10～20名)
- 自然のお話 (25分 / 10～45名)
- 自然のクイズラリー (1時間 / 10～50名)
- タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5～2時間 / 10～20名)

申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL0153-25-3047 FAX0153-25-8570

HP http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

開館時間 4～9月 9:00～17:00

10～3月 9:00～16:30

6月の休館日 1・8・15・22・29日

2005.6 発行